

活 用 事 例	新潟大学教育学部附属新潟小学校	片山敏郎教諭
活用事例タイトル	リーフレットで伝えよう！太陽光発電の現状と課題 ～新聞をデジタル化して活用した実践事例～	
対象授業科目/活動	国語	
授業または活動の概要 (目的、実施時期、授業 の場合教科名や単元名、 対象学年、参加人数、ICT の使用局面など)	<p>1 目的 学力差と興味関心に対応できるように、18種類の新聞記事を Dropbox で共有しておき、児童が、それらの記事や、インターネットで調べたことを基に、リーフレットを作る。そして、リーフレットを通して、4、5年生に太陽光発電の良さや課題を伝えていく。</p> <p>2 実施時期 平成24年10月</p> <p>3 国語「リーフレットで伝えよう！太陽光発電の現状と課題」</p> <p>4 対象学年 第6学年</p> <p>5 参加人数 39名</p> <p>6 ICTの使用局面</p> <p>(1) 課題提示場面</p> <p>(2) 資料検索場面</p> <p>(3) 発表・交流活動場面</p>	
ICT 活用により 期待できる効果 ICT 活用のねらい	<p>(1) 課題提示場面 ・18種類もの大量の新聞をタブレット端末に入れておく。そのことで、それをさっと流し見て、自分の学力や興味関心にあった新聞記事を見付けることができた。</p> <p>(2) 資料検索場面 ・新聞記事では、足りなかった情報をデジタル端末での検索で見つけた資料で補うことができた。資料をブラウザの「お気に入り」に入れ、それを見ながらグラフを書き写すなど、手元にタブレット端末がある良さを大変感じる事ができた。子ども自身が「資料を選ぶ力」を付けるうえでも、非常に有効に働いたと考える。</p> <p>(3) 発表・交流活動場面 ・作成したリーフレットをより良くするために、iPadを活用して「リーフレット中間検討会」を行い、作成途中のリーフレットに対しアドバイスし合った。そこで2つの活用を行った。</p> <p>1. 交流に先立ちそれぞれが行う2分間の発表の際に、個々に自分のiPadアプリ「プレゼンタイマー」で2分間を計り、時間意識をもって発表することができた。</p>	

	<p>2. 聞き手の 2 人は、それぞれの端末から、Dropbox 経由で共有してある友達のリーフレットを見ながら聞くことで、見やすい角度、拡大率で聞くことができた。</p>
<p>評価、振り返り（活動の評判や児童・生徒の声など）</p>	<p>・次の時間には、生徒はアドバイスやメモを基にリーフレットを完成させたが、もう一度、友達のリーフレットをiPadで開き、見ながら追記を行う姿が見られた。時を選ばず、全員のリーフレットが見られるということは、リーフレットをデジタルデータ化して、共有しているからこそできたことである。すべてを紙でコピーして配布することは理屈としては可能であるが、児童には 160 枚もの大量の紙が配られ、それらの整理・振り返りが困難な子どもが続出する。そのような大量の資料を整理して渡すことができることは、国語の指導者の先生からも評価をされた。</p>
<p>その他 （関連 WEB サイト等ありましたらご記入ください。）</p>	<p>【デジタル教科書（4）】 iPad 導入でわかったこと…国語の実践や休み時間の利用 http://resemom.jp/article/2012/11/14/10829.html</p>